

模擬放流試験に用いる素掘池の環境-1 水底質と出現プランクトン

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-04-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 足立, 純一, 高橋, 庸一 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014532

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



模擬放流試験に用いる素掘池の環境—I.

水底質と出現プランクトン

足立純一・高橋庸一

塩田跡を利用した素掘池（実験池）を放流海域とみなした模擬放流試験で、試験を進める上での基礎資料として、1998～2000年に実験池の水質（水温、DO、pH、比重、COD、クロロフィルa）と底質（COD、強熱減量、硫化物量、底砂の粒度分布）、および動・植物プランクトンを調査した。その結果、潮汐を利用した換水方法により、3カ年とも水質および底質の環境は良好であった。また、植物および動物プランクトンの出現に一定傾向は認められなかったが、植物プランクトンでは内湾性の指標種である *Skeletonema costatum* が優占した。

栽培技研, 29(2), 107-120, 2002